

かわさき区の宝物シート

宝物No.
1-28

しゃったーうきよえぎやらりー シャッター浮世絵ギャラリー

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北～川崎駅前南～八丁囃	日時	



目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区本町1～2丁目、砂子1～2丁目、小川町、日進町、下並木
問い合わせ	川崎区役所まちづくり推進部地域振興課
TEL	044-201-3136
FAX	044-201-3209
E-mail	61tisin@city.kawasaki.jp
URL	http://www.city.kawasaki.jp/61/61kusei/kawasakijuku/in (東海道川崎宿2023)
交通	



基礎情報

■「東海道川崎宿2023」と川崎区役所は、かつての東海道川崎宿にあたる本町、砂子、小川町の商店街などに、江戸時代当時の宿場町としての面影を残す事物が少ないため、地域の協力を得て、通り沿いの店舗のシャッターに浮世絵を設置する取り組みを実施している。

■シャッターには歌川広重作の「東海道五拾三次 川崎 (六郷渡舟)」のほか、同作の東海道五拾三次などの浮世絵が描かれ、江戸時代当時の東海道の賑わいを偲ぶことができる。協力店舗は薬局、寿司屋、酒屋など、多岐にわたっている。

由来・エピソード

■「東海道川崎宿2023」は、東海道川崎宿の歴史や文化を活かしたまちづくりを進める団体。「2023」は、東海道川崎宿が成立した元和9年(1623)から400年目の平成35年(2023)のことを示している。市民が提案した「東海道川崎宿2023いきいき作戦」では、節目となる2023年に向けて、東海道沿道を5つに分けたゾーン構想や様々な取組案を明記したプロジェクトが示してあり、積極的な活動が行われている。

■シャッター浮世絵ギャラリーの整備は、浮世絵や川崎宿をイメージした絵を描くことにより、江戸時代のイメージを表出することや、商店が休業の場合に、単なるシャッターではなく、絵やイラストが描かれていることで、まちに彩りや華やかさを演出することをねらっている。商店や金融機関等のシャッターなどの公共・公益施設のウィンドウに浮世絵や川崎宿をイメージした絵が描かれている。

■描かれている店舗と浮世絵は以下のとおり(平成28年(2016)3月現在)。

- 歌川広重作 東海道五拾三次
 - スイタヤ薬局: 「原(朝之富士)」・生花ハナモン: 「神奈川(台之景)」・高橋印房: 「川崎(六郷渡舟)」・やよひ鮎: 「日本橋(朝之景)」・藤枝(人馬継立)」・京師(三条大橋)」・まるだい: 「白須賀(汐見阪図)」
 - 「小田原(酒匂川)」・さくら舩ビルディング「戸塚(元町別道)」・福来屋酒店: 「吉原(左富士)」
 - 真行寺風呂店: 「舞坂(今切真景)」・天國: 「保土ヶ谷(新町橋)」
- 長谷川雪旦作 江戸名所図会
 - 高橋印房: 「河崎宗三寺」

補足・その他

■平成26年(2014)7月、川崎信用金庫本店(砂子2-11-1)のシャッター11面全てに、歌川広重作の「東海道五拾三次」の浮世絵が描かれた。シャッターに描かれた全ての浮世絵が見られるのは、午後10時00分から午前7時00分までのシャッターが閉まっている時間帯。

関連シート

(1-1)川崎宿
(1-29)いきき通り